

# 橋梁形式比較検討表

設計荷重：B活荷重、支間長14.00m、車道幅員10.00m(総幅員11.20m)

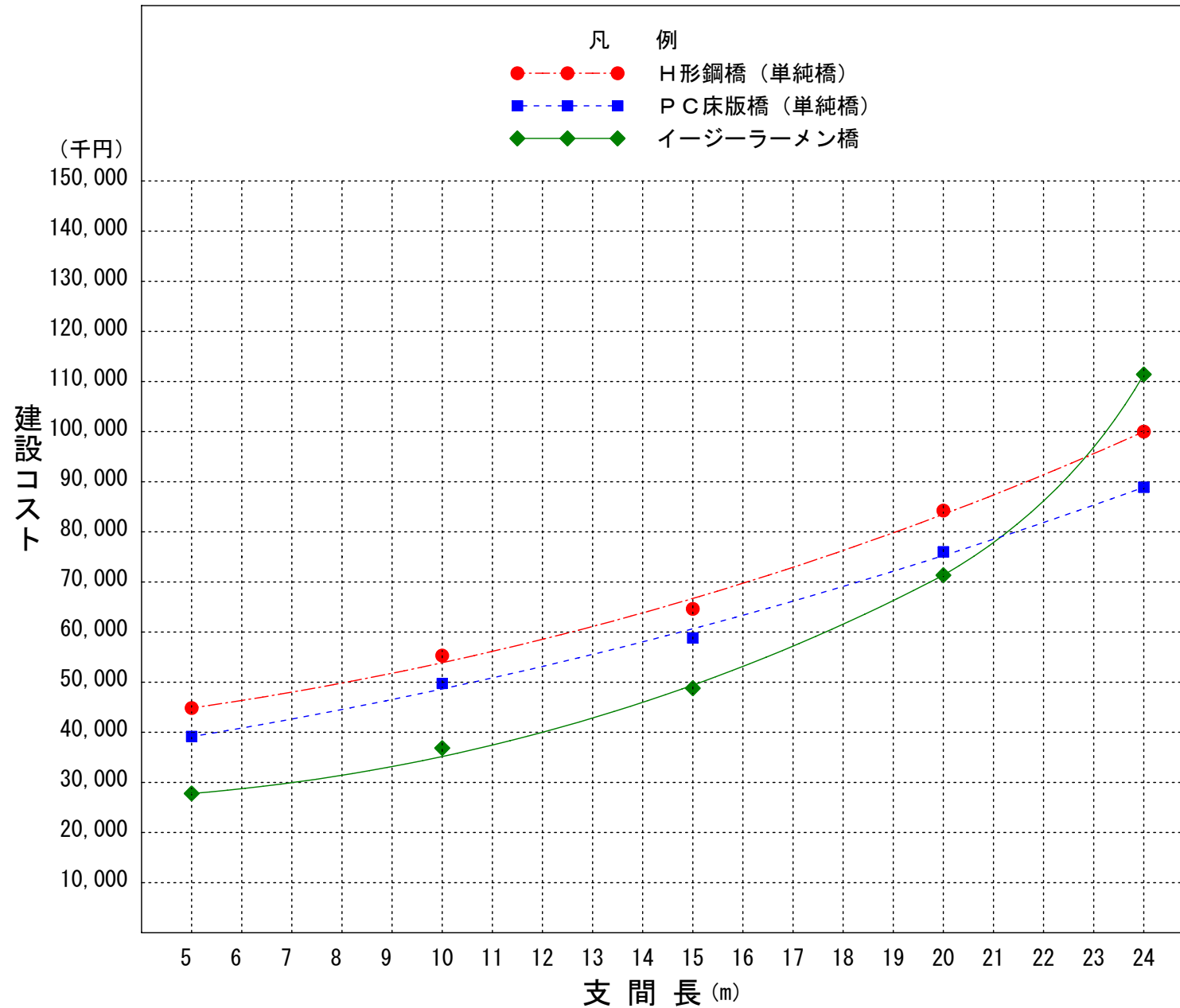
注：( )※内数値は、100年のLCCを考慮した値である。

	新技術	従来技術	従来技術
	イージーラーメン橋工法	プレテンション方式PC床版橋(単純橋)工法	H形鋼橋(単純橋)工法
工法概要	上部工・下部工を剛結し一体化させた複合門形ラーメン橋である。上部工にはイージースラブ橋(NETIS,HR-020028A)を採用している。単純橋に比べ、基礎杭本数の低減や下部工サイズの縮小が可能であり、耐震性や耐久性も向上する。	上部工・下部工共に標準設計橋種の単純橋である。上部工はプレテンション方式のPC床版橋であり、支間長が5~24m程度となる橋梁で現在最も多く採用されている。下部工も一般的な構造(逆T式RC橋台+杭基礎)である。	上部工・下部工共に標準設計橋種の単純橋である。上部工はH形鋼橋であり支間長が10~25m程度となる橋梁において採用されている。下部工も一般的な構造(逆T式RC橋台+杭基礎)である。
概略図			
経済性	47,460千円 (57,680千円)※ 0.84 (0.70)※	56,560千円 (82,330千円)※ 1.00 (1.00)※	60,670千円 (90,500千円)※ 1.07 (1.10)※
評価	◎	○	△
工程・工期	現場工期 100日程度 (0.77)	現場工期 130日程度 (1.00)	現場工期 145日程度 (1.11)
評価	◎	○	△
品質	H形鋼(非溶接材)を主桁として使用しているため信頼性が高い	主桁間の間詰Co部が無筋構造であるため弱点になりやすい	床版が損傷しやすく、耐久性にやや問題がある(ただし、合成床版やPC床版の使用により改善)
評価	○	○	△
出来形	普通	普通	普通
評価	○	○	○
現場条件	特に制約なし	狭小箇所では施工困難となる場合がある(桁架設に大型クレーン等が必要であるため)	狭小箇所では施工困難となる場合がある(工種が比較的多く、資材ヤード等が必要であるため)
評価	◎	○	○
設計条件	適用支間長 5~20m程度	適用支間長 5~24m程度	適用支間長 10~25m程度
評価	○	○	○
安全性	普通	普通	普通
評価	○	○	○
備考	経済性は、上下部合計工費(諸経費込)である 工期は、上下部工の合計工期(準備工は含まない)である	経済性は、上下部合計工費(諸経費込)である 工期は、上下部工の合計工期(準備工は含まない)である	経済性は、上下部合計工費(諸経費込)である 工期は、上下部工の合計工期(準備工は含まない)である
総合評価	◎	○	△



# 建設コスト比較図

上下部合計工費 B活荷重, 車道幅員10.00m (総幅員11.20m)



# 桁高比較図

B活荷重, 車道幅員10.00m (総幅員11.20m)

